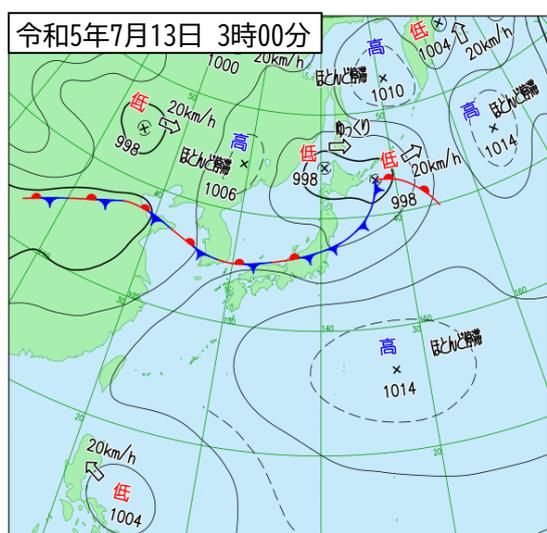
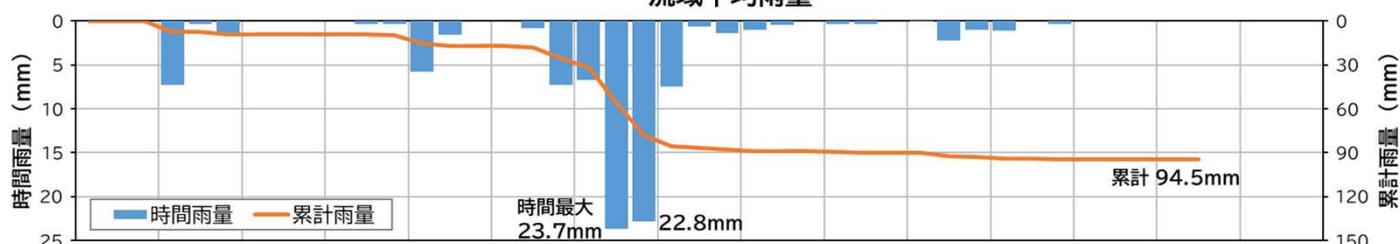


令和5年7月12～14日 梅雨前線に伴う防災操作の概要

- 梅雨前線が華北から朝鮮半島を通過して東北地方にのび、東海地方に暖かく湿った空気が流れ込んだことにより、大気が不安定な状態が続き、激しい雨が降りました。
- 徳山ダム流域では、7月12日の夕方頃から雨の降り始め、流域平均総雨量は約94.5mmを観測しました。特に13日6時から7時にかけては流域平均で最大時間雨量23.7mmの降雨を観測しました。
- この降雨の影響で、ダムへの流入量が増加し、洪水量に達する出水となり、洪水調節を実施しました。



流域平均雨量



徳山ダムの状況

